



「一休さん」って本当に実在したの???



テレビアニメ、とんち話でおなじみの「一休さん」を知っていますか？実は、一休さんは本当にいた人なのです。

一休さんは、今からおよそ600年以上も昔の1394年1月1日に京都で生まれました。お父さんは、後小松天皇ということなので、とても身分の高い人でした。この一休さん、小さい頃から大変賢い人だったようです。6歳のときに、安国寺というお寺に入って修行を積み、15歳のときには、漢詩を作る力の素晴らしさが認められ、都で大評判になったといひます。

一休さんは、「人間はどのように生きるのが正しいのかということを知るためには厳しい修行が必要である」として、大徳寺というお寺で修行に励みました。そして、27歳のときに湖を渡るカラスの鳴き声を聞いて、悟りを開いたとされています。それから、「一休」（一休宗純）という名前を与えられました。「一休」という名前は、「人間の持っている悩みと悟りの間で一休みする」という意味なのだそうです。

一休さんは、お金や身分に夢中になる人たちを批判し、貧しくても自由に生きる大切さを教えて各地を歩きました。あるときは、ぼろぼろの着物に大きな木刀を腰にさし、尺八を吹いて町の中を歩いたということです。ずいぶんみすぼらしい姿です。それは、「人間というものは、身なりで判断するものではないのだ」ということを教えるためだったのでしょう。貧しい人とお金持ちが差別されたり、身分の高い低いで差別されたりすることを批判する一休さんは、多くの人に親しまれるようになりました。このお寺には、一休さんを尊敬して、当時の文化人が大勢集まってきたそうです。

さて、一休さんが「とんちの名人」とされたのは、一休さんが亡くなって200年ほど後に出版された『一休頓智』という本で紹介されてからのようです。その本には、実際にあったことも書かれているようですが、多くは関係のない人のとんち話や笑い話も、一休さんの話とされているようです。その一休さんが亡くなったのは、1481年11月21日のことでした。



転入 久保川心結 (4年) ドイツ (ISF フランクフルト国際学校) 田口町若草 < 生年月日 H21. 9.22 >

〃 久保川瑛仁 (1年) ドイツ () 〃 < 生年月日 H25. 1.13 >